

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスのびっこくらぶ		2025年 2月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善が必要だと思われる点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	児童の特性や課題に合わせた環境設定が行えるように工夫しています。特に長期休暇中は場所の確保が難しいため、地域の施設を活用したり外出活動なども取り入れています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準以上の職員を常に配置しています。突発的な状況が起きた時には、からふるの職員にヘルプをお願いしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		事業終了後は、指導室の清掃、玩具などの消毒を必ず行うようにし清潔を保つよう努めています。廊の整理なども定期的に行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		からふるの指導室なども活用しながら、お子さんの状態に合わせた環境設定を行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を行い、業務改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	評価結果を業務改善に繋げていますが、第三者による外部評価は未定です。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	支援プログラムは作成しました。今後HPなどで公表する予定です。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別の支援目標にずれが生じてくる場合があるので、職員会議などで定期的に確認し支援を進めていけるように努めます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	常勤職員のみで立案しているので、今後は非常勤の職員の意見も取り入れながら活動プログラムを立案し、さらに充実した支援を提供できるように努めます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に、活動内容や目的などを職員間で共有し、目的に沿って活動が行われるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、児童の様子を共有したり、活動の反省やヒヤリハットの確認なども行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		会議や送迎時、その他必要に応じて、学校との情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		施設内に児童発達支援センターがあるため、必要に応じて連携を図るようにしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域や児童館での行事等に参加し、交流の機会を提供できるように努めています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	のびっこくらぶとしての保護者会はありませんが、今後ご意見を伺いながら検討します。保護者同士の交流の場として、ペアレントメンター相談会への参加や、秋市手をつなぐ育成会等への活動の参加をお勧めしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定しており、職員間で共有できるようにしています。保護者には災害発生時の対応に関する簡易版を作成し、マチコミを活用して周知しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		虐待防止委員会でヒヤリハットの分析を行い、職員間で共有し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービスのびっこくらぶ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日 ~ 2024年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日 ~ 2024年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生に特化し、年齢や発達段階に応じた支援を提供	発達支援・余暇支援。家家庭支援を個々のニーズに合わせて行っています。 子どもの発達特性を把握し、楽しみながら取り組めるプログラムや分かりやすい支援方法を考えて提供しています。	保護者には支援内容を丁寧に伝えるようにしていきます。
2	教員や玩具が充実しており、特に感覚統合の遊具が充実しており、様々な運動遊びの提供	豊富な教員や玩具、感覚運動遊具を活用した、楽しみながら取り組める活動の工夫をしています。	プログラムが偏らないように、楽しく安全に活動できるように努めます。
3	地域の関係機関との連携	送迎や会議、その他必要に応じて情報共有を行うようにしています。	更にスムーズな連携と情報共有ができるように、信頼関係を構築していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域交流に対する職員の意識の低さ。	地域の方との交流や社会資源を活用した活動など、職員一人一人が情報収集に努めたり、地域交流を意識したプログラムを考えるなど、子どもたちが将来、地域の中で生きていくための基礎作りをする取り組みを更に検討していきます。
2			
3			